

相生山緑地の在り方について市民の合意を求める陳情書

陳情事項

名古屋市は、世界の「AIOIYAMA」プロジェクト意見交換会、相生山緑地緑地計画検討会において相生山緑地の在り方について市民との合意形成に努めてください。

理由

私たちは、2015年5月8日に「(相生山緑地)整備計画立案の段階から、多くの市民の意見を取り入れ、計画立案から完成まで市民が参画できるようにしてください。」との要望書を市長に提出しました。

そのためもあってか2019年3月から世界の「AIOIYAMA」プロジェクト意見交換会。また、2020年10月から相生山緑地緑地計画検討会が開催され、それぞれにおいて緑地を分断する園路や施設を造らないでほしいと意見を述べました。また市長が2014年12月に表明した市道弥富相生山線道路事業の廃止を先に実行して、しかる後緑地の在り方を市民とともに話し合っしてほしいとも述べてきました。さらに現在も名古屋市は“相生山緑地の未来を考えよう”とのテーマで青少年たちと「子ども若者ワークショップ」を開講中であります。しかし行政当局は本年4月折衷案作成業務を外部業者に委託しました。これはそれぞれの会において多くの市民が真摯に述べた意見をないがしろにすることであり、さらにそれら意見の分析・評価・合意形成をしない行政当局の態度は市民の名古屋市に寄せる信頼を大きく毀損することと思います。

2022年11月15日

名古屋市会議長 岩本 たかひろ 様

名古屋市天白区天白町野並相生 28-341
相生山の自然を守る会
代表 近藤 国夫